

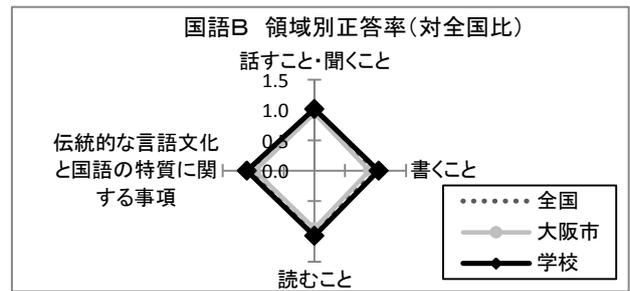
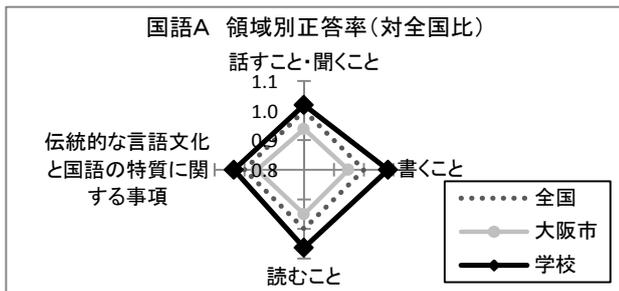
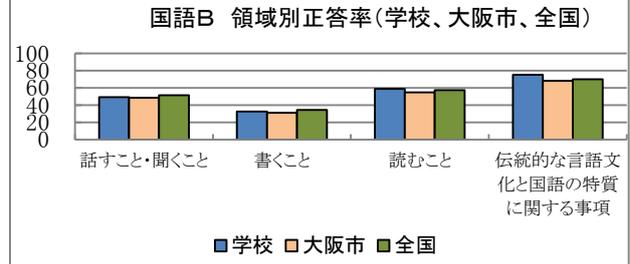
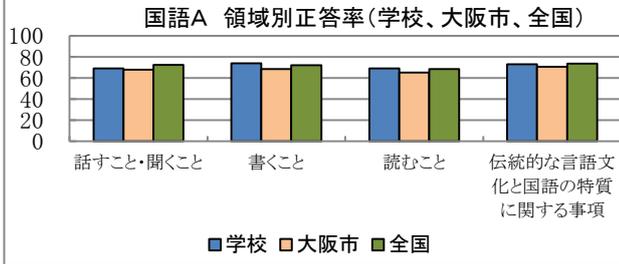
【国語】

【結果の概要】

問題A(知識)、問題B(活用)とも、すべての領域で大阪市平均を上回っている。しかし、「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、全国平均を約2~3%下回った。一方、漢字の読み書き等、基本的な言語に関する知識・理解を問う問題については、定着にがんばりが見られた。児童質問紙による「国語の勉強が好き」「国語の授業内容がよくわかる」とする回答の割合も、大阪市・全国平均を上回っている。

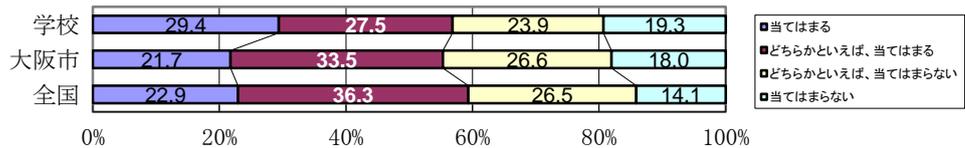
A 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	69.2	67.9	72.4
	書くこと	3	74.1	68.5	72.2
	読むこと	2	69.2	65.1	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	12	73.1	70.6	73.7

B 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	49.1	48.3	51.2
	書くこと	3	32.4	30.9	34.4
	読むこと	7	58.7	54.6	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	75.0	67.9	69.8



国語に関する「児童質問紙」

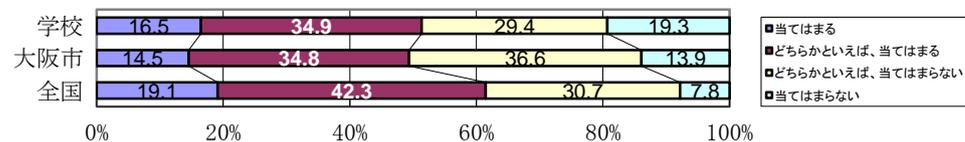
50
国語の勉強は好きですか



52
国語の授業の内容はよく分かりますか



55
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



57
国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



【成果と課題】

本校ではここ数年、国語科・算数科を中心に「伝え合う力」の育成に取り組んできており、その成果も見えつつある。また、漢字の読み書き等、言語についての知識・理解も定着してきている。しかし、故事成語の意味と使い方については、理解がまだ十分とは言えない。また、児童質問紙による傾向としては、「当てはまらない」という回答の割合が高く、特に資料を読んで自分の考えを話したり、書いたりすること、理由がわかるように書いたりすることを苦手とする傾向がみられる。

【今後の取組】

- 朝のチャレンジタイム等を活用して、漢字学習をさらに充実させていくとともに、故事成語の使い方について理解を深めていく。
- 情報を整理したり、資料を読み取ったりしながら自分の考えを書いたり話したりする機会を意図的に多く持つようにしていく。
- 他教科との関連を図りながら、ノート指導等を通して、特に「書く力」に重点を置いた指導方法をさらに追究していく。